

IV. 次期の見通し

連結業績の売上高は、燃料価格の上昇による燃料費調整制度の影響などにより、前期に比べ520億円程度増加の7,550億円程度となる見通しであります。

一方、損益につきましては、今後の供給力の状況を見極めていく必要があり、燃料費などの費用を合理的に算定することができないため、未定といたします。

今後、業績を見通すことが可能となり次第、速やかにお知らせいたします。

なお、電力供給につきましては、供給設備の適切な運用に全力で取り組み、安定供給確保に向け万全を期してまいります。

次期の中間・期末配当金につきましては、業績を見通すことができないことから、普通株式および優先株式ともに未定とさせていただきます。

○ 連結業績見通し

30年3月期連結業績予想 (単位：百万円)

	通	期
		対前期増減
売上高	755,000	52,000
(対前期増減率)	(△1.4%程度)	
販売電力量	264億kWh程度	△4億kWh程度

○ 単独業績見通し

30年3月期単独業績予想 (単位：百万円)

	通	期
		対前期増減
売上高	725,000	48,000

※通期の為替レートは115円/\$程度、原油CIF価格は55\$/b1程度として想定しております。